



ひよし 日吉ダム 洪水に対し防災操作を実施

淀川水系桂川の水資源機構日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、台風 21 号の降雨により、9 月 4 日 11 時から 5 日 3 時までの総雨量が 83mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒 220 立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムは防災操作を実施し、最大流入時に約 32%（毎秒 71 立方メートル）の水をダム貯水池に貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を約 0.19 メートル低減したものと想定されます。

※防災操作：大雨による出水に備えて、貯水池の空容量を確保するための操作及び、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

平成 30 年 9 月 13 日

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

台風 21 号に伴う洪水に対し操作を実施

淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、台風 21 号の影響により、9 月 4 日 14 時から 15 時までの 1 時間の雨量が 45.7 mm を記録し、降り始めの 9 月 4 日 11 時から 5 日 3 時までの総雨量が 83mm に達しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、4 日 18 時 20 分には洪水量（毎秒 150 立方メートル）に達しました。

4 日 19 時 10 分には、毎秒 220 立方メートルに達しましたが、流入量の約 32%（毎秒約 71 立方メートル）を低減させ、同時刻におけるダム流下量を毎秒 149 立方メートルとしました。

操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム流下低減
日吉 ダム	83 mm	平成 30 年 9 月 4 日 19 時 10 分	毎秒 220m ³	毎秒 149m ³	毎秒 71m ³ (約 32%)

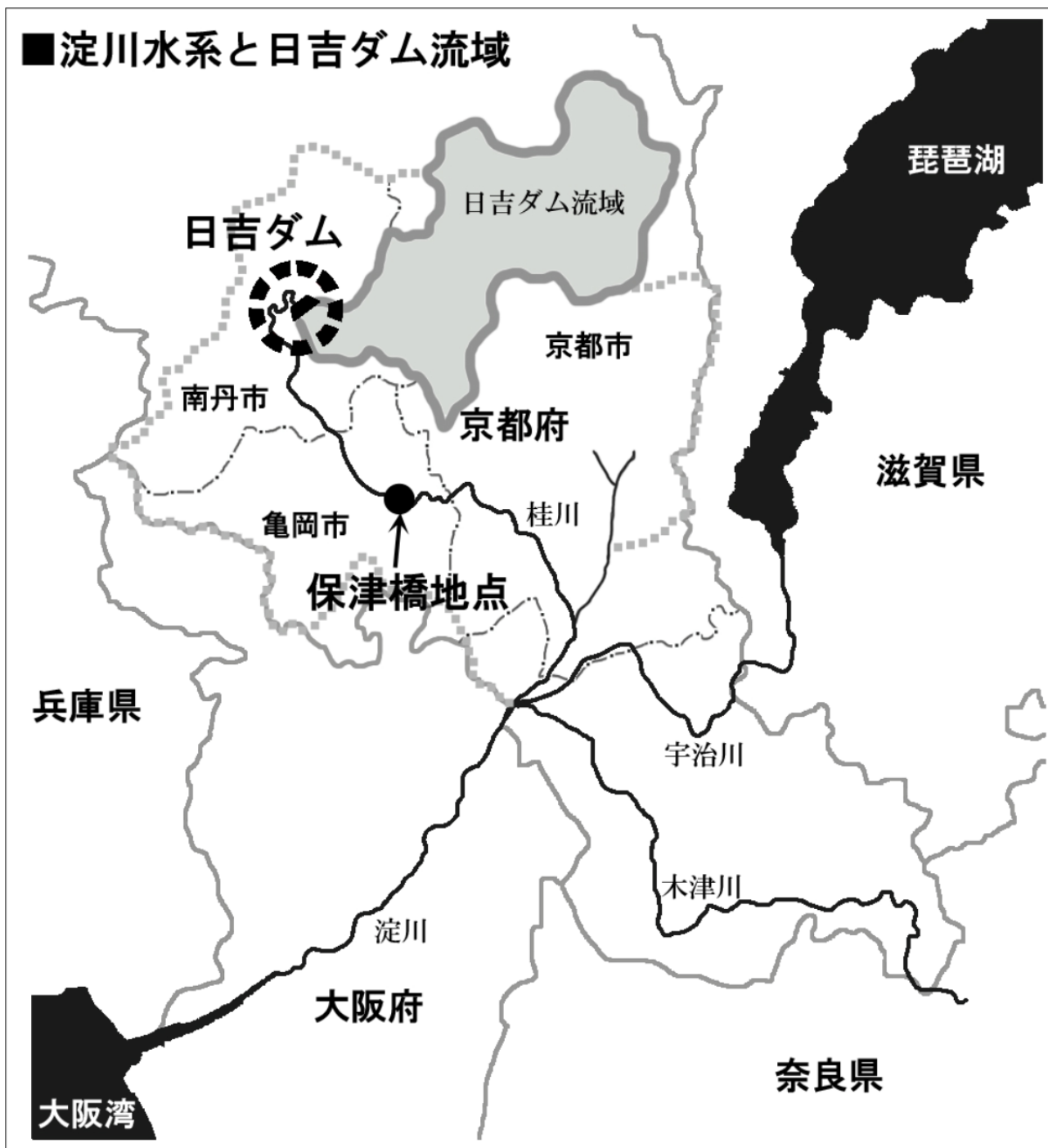
洪水に対する操作では、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の最高水位は 2.84m となりました。もし、ダムが無かった場合には、同じ保津橋地点の水位は 3.03m と推定されます。

保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合の同 地点の最高水位（推定）	水位低減効果 （推定）
平成 30 年 9 月 4 日 18 時 00 分	2.84m	3.03m	約 0.19m

日吉ダムでは、今後もダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

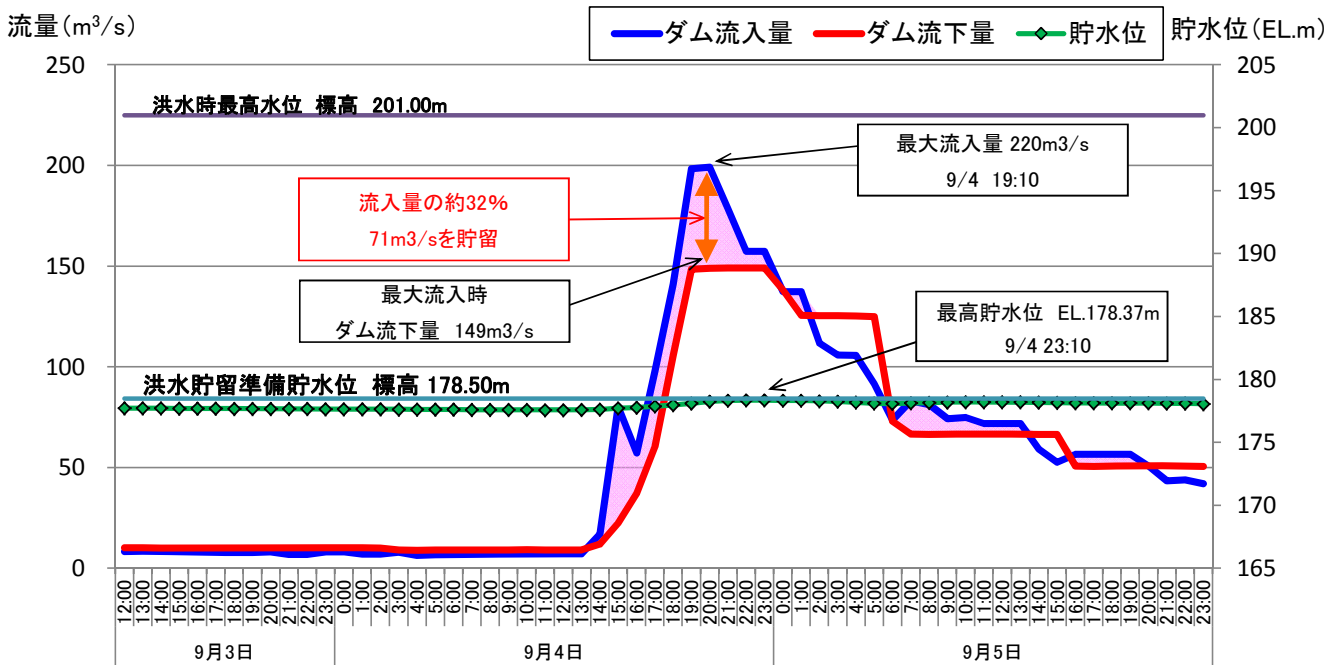
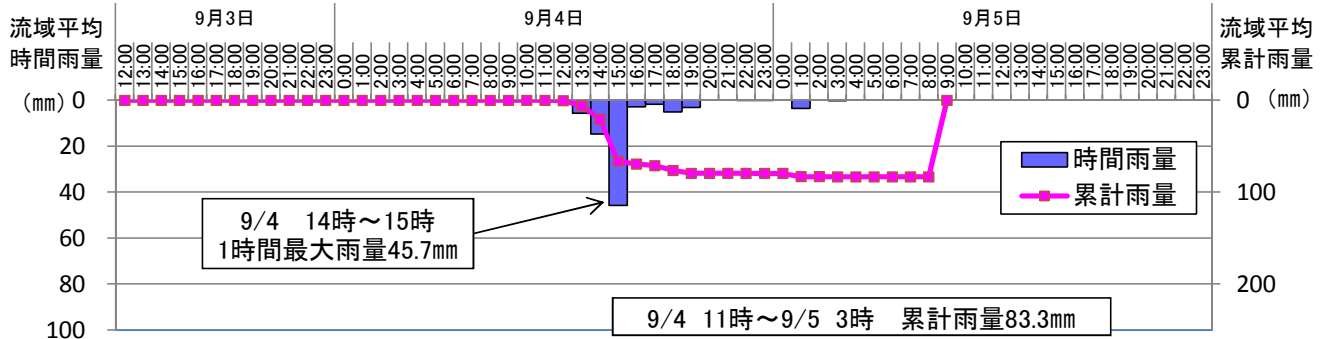
位置図



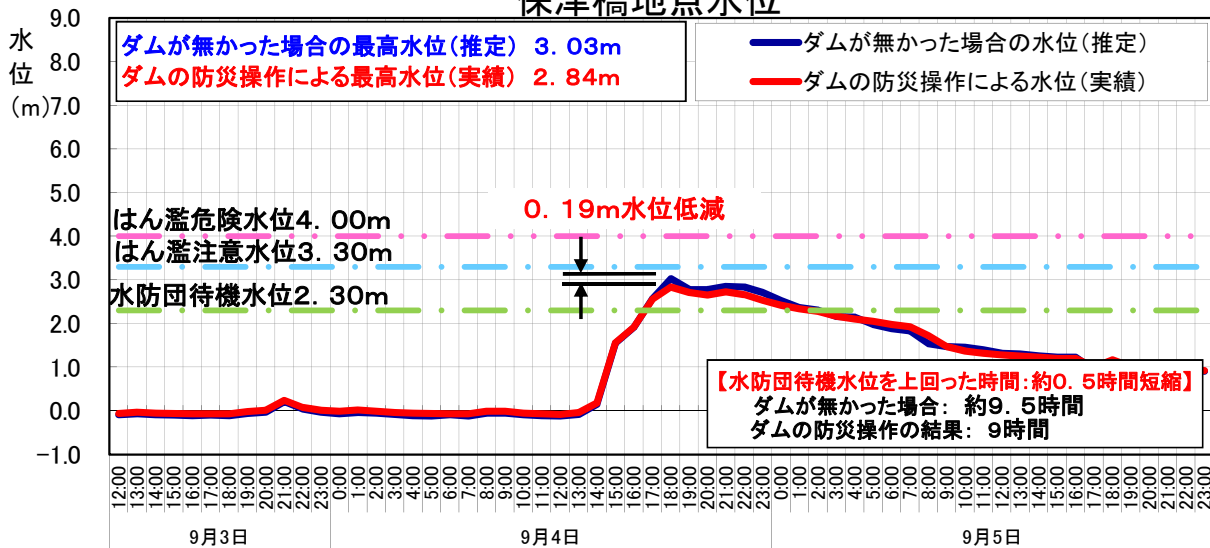
台風21号の降雨に対する日吉ダム防災操作について

・日吉ダム最大流入時に約32%を貯留、ダム下流の河川水位を低減

日吉ダム防災操作図



保津橋地点水位



日吉ダム 台風21号に伴う洪水に対し操作を実施

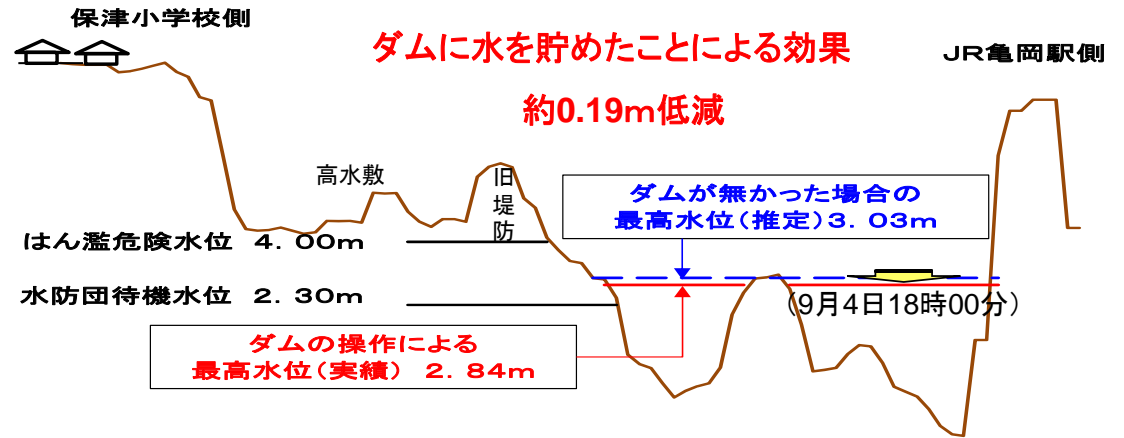
- 淀川水系桂川の日吉ダム流域では、台風21号の影響により、最大の時間雨量は4日14時から15時にかけて45.7mm、降り始めからの総雨量は4日11時から5日3時までに83mmを観測しました。
- この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒220立方メートルを記録しましたが、防災操作により、最大流入時に約32%（毎秒約71立方メートル）の水をダムに貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。
- この操作で、京セラドーム大阪※約0.4杯分（49万立方メートル）の水をダムに貯め込むことにより、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の最高水位は2.84mとなりました。もし、ダムが無かった場合には、同じ保津橋地点の水位は3.03mで、約0.19mの水位低減があったと推定されます。（※京セラドーム大阪の容量を120万立方メートルとして算出）



● 最大流入時に、ダム流下量を流入量の約32%を低減し、京セラドーム大阪約0.4杯分の水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。



● 保津橋地点（保津川下り乗船場付近）



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変更することがあります。